

注3

大学番号：私099

[平成25年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

駒沢女子大学 人文学部 心理学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 駒澤学園
平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 大学短大事務部教務課

職名・氏名 カチョウ ヤマ グチ
課長 山 口 さ と み

電話番号 042-350-7111

（夜間） 042-331-1911

F A X 042-350-7112

e-mail daigaku@komajo.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成28年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

人文学部

<心理学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	15
6. 留意事項等に対する履行状況等	27
7. その他全般的事項	28
8. 添付資料（駒沢女子大学点検・評価・改善委員会規定	32

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 駒澤学園

(2) 大学名

駒沢女子大学

(3) 大学の位置

〒206-8511
東京都稲城市坂浜238番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カツラギ テンカイ) 葛城天快 (平成22年6月)		
学長	(ミツ ダ マサ ヨシ) 光田督良 (平成23年4月)		
学部長	(ハトリ オサム) 羽鳥修 (平成24年4月)		
学科長等	(ストウ アキラ) 須藤明 (平成25年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人文学部 心理学科 学士(心理学)	4年	90人	— 年次人	360人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	90人 (-) [-]	90人 (-) [-]	90人 (-) [-]	90人 (-) [-]	90人 (-) [-]	90人 (-) [-]	90人 (-) [-]	90人 (-) [-]	1.03倍	
志願者数	291 (-) [2]	(-) (-) [-]	298 (-) [-]	(-) (-) [-]	259 (-) [2]	(-) (-) [-]	186 (-) [-]	(-) (-) [-]		
受験者数	286 (-) [2]	(-) (-) [-]	290 (-) [-]	(-) (-) [-]	253 (-) [2]	(-) (-) [-]	179 (-) [-]	(-) (-) [-]		
合格者数	203 (-) [2]	(-) (-) [-]	211 (-) [-]	(-) (-) [-]	204 (-) [2]	(-) (-) [-]	170 (-) [-]	(-) (-) [-]		
B 入学者数	105 (-) [2]	(-) (-) [-]	109 (-) [-]	(-) (-) [-]	95 (-) [2]	(-) (-) [-]	62 (-) [-]	(-) (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.16		1.21		1.05		0.68			

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	[2] (-) 105	[-] (-) -	[-] (-) 109	[-] (-) -	[2] (-) 95	[-] (-) -	[-] (-) 62	[-] (-) -		
2年次	/		[2] (-) 101	[] () -	[-] (-) 104	[] () -	[2] (-) 94	[-] (-) -		
3年次			[2] (-) 91	[] () -	[-] (-) 97	[-] (-) -				
4年次			/		/		/		2 (-) 86	[-] (-) -
計									[2] (-) 105	[2] (-) 210

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	105 人	19 人	平成25年度	4 人	0 人	・他の教育機関への入学・転学(3名)、 就学意欲の低下(1人)	18.1 %
			平成26年度	10 人	0 人	・学生個人の心身に関する事情(3名)、家庭の 事情(2名)、除籍(2名)、その他(2名)、就職(1 名)	
			平成27年度	5 人	0 人	・他の教育機関への入学・転学(2名)、 学生個人の心身に関する事情(2名)、除籍(1 名)	
			平成28年度	0 人	0 人		
平成26年度 入学者	109 人	12 人	平成26年度	5 人	0 人	・就学意欲の低下(2名)、学生個人の心身に 関する事情(2名)、その他(1名)	11.0 %
			平成27年度	7 人	0 人	・就学意欲の低下(3名)、他の教育機関への入学・転学(1 名)、学生個人の心身に関する事情(1名)、その他(2名)	
			平成28年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	95 人	1 人	平成27年度	1 人	0 人	その他(1名)	1.1 %
			平成28年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	62 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0.0 %
合 計	371 人	32 人					8.6 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<人文学部 心理学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数					専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	<建学の精神実践科目>												
	仏教学Ⅰ	1前	2									兼 6	
	仏教学Ⅱ	1後	2									兼 6	
	仏教学Ⅲ	2前		2								兼 2	
	仏教学Ⅳ	2後		2								兼 2	
	駒沢女子大学入門	1・2前		2								兼 2	小人数が入による充実を図り増員(26)担当授業数の調整のため(28)
	<教養力育成科目>												
	【人間を学ぶ】												
	人間と思想Ⅰ	1・2前		2								兼 4	
	人間と思想Ⅱ	1・2後		2								兼 2	クラス数増加のため増員(25)担当者の定年退職により複数のクラスを1名で担当(26)
	人間と文化	1・2前		2								兼 1	
	生命の科学	1・2後		2								兼 1	
	倫理学	1・2後前		2								兼 1	前後期開講数を同程度にするため(26)
	心理学Ⅰ	1・2前		2								兼 2	
	心理学Ⅱ	1・2後		2								兼 2	
	【文化と歴史を学ぶ】												
	日本の歴史	1・2前後		2								兼 1	担当者変更による開講期の変更(27)下川雅弘(兼任)→鈴木一馨(兼任)
	世界の歴史	1・2後		2								兼 1	
	日本の文学	1・2後前		2								兼 1	前後期開講数を同程度にするため(26)
	ヨーロッパの文学	1・2後		2			1						
	日本美術史	1・2前		2								兼 1	退職による担当者変更(27)岩崎和子(兼任)→遠山元浩(兼任)
	西洋文化史	1・2前後前		2								兼 1	前後期開講数を同程度にするため(26)
	考古学	1・2後		2								兼 1	
	【社会の仕組みを学ぶ】												
	世界の政治	1・2前後		2								兼 1	前後期開講数を同程度にするため(26)
	世界の経済	1・2後前		2								兼 1	
	新聞と報道	1・2後		2								兼 1	
	法学	1・2前		2								兼 1	
	社会学Ⅰ	1・2前		2								兼 3	平成28年4月 担当する学部の変更。社会学Ⅰ・社会学Ⅱは他に担当教員が1名いるため支障はない。(28)
	社会学Ⅱ	1・2後		2								兼 3	
	【科学の世界を学ぶ】												
	数学の世界	1・2前		2								兼 1	
	物理の世界 2	1・2後		2								兼 1	
	生物と生命	1・2前		2								兼 1	
	地球と宇宙	1・2後		2								兼 4	退職による担当者未定のため今年度は開講しない(28)
物質と化学	1・2後		2								兼 4	退職による担当者未定のため今年度は開講しない(28)	
情報と科学	1・2前後		2								兼 1	段階的な履修を図るため配当年次を変更、前後期開講数を同程度にするため開講期を変更(26)	
【教養特設科目】													
教養知AⅠ	2後 3前		2			1					兼 3	段階的な履修を図るため配当年次を変更、前後期開講数を同程度にするため開講期を変更(26)	
教養知AⅡ	3前後		2			1					兼 3	段階的な履修を図るため配当年次を変更、前後期開講数を同程度にするため開講期を変更(26)	
教養知BⅠ	2後 3前		2								兼 3	平成28年4月 担当授業数調整による(28)	
教養知BⅡ	3前後		2								兼 3	段階的な履修を図るため配当年次を変更、前後期開講数を同程度にするため開講期を変更(26)	
小計(35科目)	—		4	66	0	2	0	0	0	0	兼 35		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	<第1外国語科目>												
	英語A I	1前	1			1					兼 14 15	クラス数増加のため増員 (26) 外国人教員の退職と採用により授業担当数を変更 (27) アン・ヤン(兼担)→モリス・ジ ヨサン・ポール、クロン・ラザ(兼担)	
	英語A II	1後	1			1					兼 14 15		
	英語A III	2前	1			1					兼 14 15 16		
	英語A IV	2後	1			1					兼 14 15 16		
	英語B I	1前	1			1					兼 14 15 16		
	英語B II	1後	1			1					兼 14 15 16		
	英語B III	2前	1			4					兼 19 15 16		
	英語B IV	2後	1			4					兼 19 15 16		
	<第2外国語科目>												
	基礎フランス語 I	1・2前		1		1	4						兼 1 2 1
	基礎フランス語 II	1・2後		1		1	4					兼 1 2 1	
	基礎ドイツ語 I	1・2前		1		1						兼 1	クラス数増加のため増員 (25)
	基礎ドイツ語 II	1・2後		1		1						兼 1	クラス数増加のため増員 (25)
	基礎スペイン語 I	1・2前		1		1						兼 1	
	基礎スペイン語 II	1・2後		1		1						兼 1	
	基礎中国語 I	1・2前		1		1							
	基礎中国語 II	1・2後		1		1							
	フランス語 I A	1前		1		1	4					兼 1 4 1	昇格による変更 (26) 退職による担当者変更 (27) 久保田静香(兼任→松村悠子(兼任))
	フランス語 II A	1後		1		1	4					兼 1 4 1	
	フランス語 III A	2前		1		4	4					兼 1 4 1	
	フランス語 IV A	2後		1		4	4					兼 1 4 1	
	フランス語 I B	1前		1		4	4					兼 1 4 1	科目担当で授業担当の見直しを行った (27)
	フランス語 II B	1後		1		4	4					兼 1 4 1	
	フランス語 III B	2前		1		1	4					兼 1 4 1	
	フランス語 IV B	2後		1		1	4					兼 1 4 1	
	ドイツ語 I A	1前		1		1						兼 1 4 1	科目担当で授業担当の見直しを行った (27)
	ドイツ語 II A	1後		1		1						兼 1 4 1	
ドイツ語 III A	2前		1		1						兼 1 4 1		
ドイツ語 IV A	2後		1		1						兼 1 4 1		
ドイツ語 I B	1前		1		1						兼 1 4 1	科目担当で授業担当の見直しを行った (27)	
ドイツ語 II B	1後		1		1						兼 1 4 1		
ドイツ語 III B	2前		1		1						兼 1 4 1		
ドイツ語 IV B	2後		1		1						兼 1 4 1		
スペイン語 I A	1前		1		1						兼 1 4 1	科目担当で授業担当の見直しを行った (27)	
スペイン語 II A	1後		1		1						兼 1 4 1		
スペイン語 III A	2前		1		1						兼 1 4 1		
スペイン語 IV A	2後		1		1						兼 1 4 1		
スペイン語 I B	1前		1		1						兼 1 4 1	科目担当で授業担当の見直しを行った (27)	
スペイン語 II B	1後		1		1						兼 1 4 1		
スペイン語 III B	2前		1		1						兼 1 4 1		
スペイン語 IV B	2後		1		1						兼 1 4 1		
中国語 I A	1前		1		4						兼 1 4 1	担当授業数の調整により担当者の変更 (26)	
中国語 II A	1後		1		4						兼 1 4 1		
中国語 III A	2前		1		4						兼 1 4 1		
中国語 IV A	2後		1		4						兼 1 4 1		
中国語 I B	1前		1		1						兼 1 4 1	科目担当で授業担当の見直しを行った (27)	
中国語 II B	1後		1		1						兼 1 4 1		
中国語 III B	2前		1		1						兼 1 4 1		
中国語 IV B	2後		1		1						兼 1 4 1		
小計 (48科目)		—	8	40	0	3 4	4 0	0	0	0	兼 28 30		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	情報科目	コンピュータ演習Ⅰ	1前	1							兼 8 5	担当授業数の調整により担当者の変更(26)	
	コンピュータ演習Ⅱ	1-2後 1		1						兼 3 5			
	コンピュータ演習Ⅲ	1-2前 2		1						兼 3 1	段階的な履修を行うため配当年次の変更と、担当授業数の調整により担当者の変更(26)		
	コンピュータ演習Ⅳ	1-2後 2		1						兼 3 1			
	小計(4科目)	—		1	3	0	0	0	0	0	0	兼 8 6	
	就業力育成科目	<言語力育成科目>	言語表現演習Ⅰ	1前	1							兼 15 5	記載誤りを訂正(26)
		言語表現演習Ⅱ	1後	1								兼 15 5	
		<キャリア力育成科目>	進路設計	1後	2							兼 2 3	クラス数増加のため増員(25) 退職による担当者変更(27) 古澤有可(兼任)→野々垣みどり(兼任)
		社会と教養演習A	2前		1						兼 1 2		
		社会と教養演習B	2前		1							兼 1	退職による担当者変更(27) 古澤有可(兼任)→野々垣みどり(兼任) クラス数増加のため増員(28)
		社会と教養演習C	2後		1						兼 1 2		
		社会と教養演習D	2後		1							兼 1	クラス数増加のため増員(28)
		キャリアリテラシー	3前		2							兼 1	
	小計(8科目)	—		4	6	0	0	0	0	0	0	兼 15 9 10 11	
	体育科目	スポーツⅠ	1-2前		1							兼 4 3	担当教員の芝山正治教授退職のため担当教員を調整(28)
		スポーツⅡ	1-2後		1							兼 4 3	
		小計(2科目)	—		0	2	0	0	0	0	0	0	兼 3 2
	特設科目	<留学生・帰国生徒対象科目>	日本語RⅠA	1前	1							兼 1	留学生・帰国生徒以外は履修することができない 12科目16単位必修(留学生・帰国生徒のみ) 退職による担当者変更(27阪本 史代(兼任)→中尾 真樹(兼任)) 退職による担当者変更(27阪本 史代(兼任)→中尾 真樹(兼任)) 退職による担当者変更(27阪本 史代(兼任)→中尾 真樹(兼任)) 退職による担当者変更(27阪本 史代(兼任)→中尾 真樹(兼任)) 退職による担当者変更(27阪本 史代(兼任)→中尾 真樹(兼任))
		日本語RⅠB	1前	1								兼 1	
		日本語RⅡA	1後	1								兼 1	
		日本語RⅡB	1後	1								兼 1	
		日本語RⅢA	2前	1								兼 1	
		日本語RⅢB	2前	1								兼 1	
		日本語RⅣA	2後	1								兼 1	
		日本語RⅣB	2後	1								兼 1	
		日本事情Ⅰ	1前	2								兼 1	
日本事情Ⅱ		1後	2								兼 1		
日本事情Ⅲ		2前	2								兼 1		
日本事情Ⅳ		2後	2								兼 1		
小計(12科目)	—		16	0	0	0	0	0	0	0	兼 3 2	クラス数の調整による担当者の変更(26)	
共通教育科目 小計(109科目)	—		33	117	0	3 4	1 0	0	0	0	兼 92 79 81 78		

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通 専門 科目	基礎ゼミⅠ	1前	1			4 5	3 1	+			昇格による専任教員等の配置変更と、 クラス数の変更による減員 (26) クラス数の変更による減員 (27) 昇格による専任教員等の配置変更と担 当者調整 (28)
	基礎ゼミⅡ	1後	1			4 5	3 1	+			昇格による専任教員等の配置変更と、 クラス数の変更による減員 (26) クラス数の変更による減員 (27) 昇格による専任教員等の配置変更と担 当者調整 (28)
	基礎ゼミⅢ	2前	1			4 5 6	3 1	+			昇格による専任教員等の配置変更と、 クラス数の変更による減員 (26) 昇格による専任教員等の配置変更 (26)
	心理学の基礎Ⅰ	1前	2						1		
	心理学の基礎Ⅱ	1後	2						1		
	心理学実験実習Ⅰ	2前	2						+		兼 2 2コマ連続 3 クラス数増加のため増員 (26)
	心理学実験実習Ⅱ	2後	2						+		兼 2 担当授業数調整のため担当者変更 丸 3 山慎(講師)→奥野真之(兼任) (27)
	心理学研究法Ⅰ	3前	2						1		
	心理学研究法Ⅱ	3後	2						1		
	心理統計法Ⅰ	1・2前		2							兼 1
	心理統計法Ⅱ	1・2後		2							兼 1
	文芸と心理	2・3・4後		2			1				オムニバス
	言葉と心理	2・3・4後		2			+	+			昇格による変更 (26)
	心理学英語講読	3前 後		2							兼 1 前後期開講数を同程度にするため変更 (26)
	学外実習	3後		1			2	1	2	1	集中 昇格による変更 (26)
小計 (15科目)	—		15	11	0	5 7 6 7	3 2	2 +	0	0	兼 4 教授数記載誤り訂正 (27) 3 4
専門 教育 科目	社会心理学Ⅰ	2前	2								兼 1
	社会心理学Ⅱ	2後	2								兼 1
	発達心理学Ⅰ	2前	2					1	+		昇格による変更 (28)
	発達心理学Ⅱ	2後	2					1	+		昇格による変更 (28)
	犯罪心理学Ⅰ	2・3前		2			1				
	犯罪心理学Ⅱ	2・3後		2			1				
	認知心理学	2・3前		2							兼 1
	家族心理学	2・3後		2			1				
	教育心理学	2・3・4前		2			1				
	健康心理学	2・3・4後		2							兼 1
	コミュニティ心理学	2・3・4後		2			1	+			昇格による変更 (28)
	スポーツ心理学	2・3・4後		2							兼 1
	産業心理学	2・3・4前 後		2			1	+			前後期開講数を同程度にするため開講 期の変更と教員等による専任教員等の 配置変更 (26)
	消費者心理学	2・3・4後 前		2							兼 1 前後期開講数を同程度にするため変更 (26)
	社会福祉援助論	2・3・4後		2							兼 1
	高齢者心理学	2・3・4後		2							兼 1
	対人援助論Ⅰ	3・4前		2							兼 1
	対人援助論Ⅱ	3・4後		2							兼 1
	現代心理学実習	3前	2				+	1	+		担当授業数の調整による担当者の変更 (26) 担当者の追加 (27) 富士原光洋(教授) 昇格による変更 (28)
	現代心理学ゼミAⅠ	3前		1			1				
	現代心理学ゼミAⅡ	3後		1			1				
	現代心理学ゼミAⅢ	4前		1			1				
	現代心理学ゼミAⅣ	4後		1			1				
現代心理学ゼミBⅠ	3前		1			1					
現代心理学ゼミBⅡ	3後		1			1					
現代心理学ゼミBⅢ	4前		1			1					
現代心理学ゼミBⅣ	4後		1			1					
現代心理学ゼミCⅠ	3前		1				1	+			
現代心理学ゼミCⅡ	3後		1				1	+			
現代心理学ゼミCⅢ	4前		1				1	+		昇格による変更 (26)	
現代心理学ゼミCⅣ	4後		1				1	+			
現代心理学ゼミDⅠ	3前		1				1	+		昇格による変更 (28)	
現代心理学ゼミDⅡ	3後		1				1	+		昇格による変更 (28)	
現代心理学ゼミDⅢ	4前		1				1	+		昇格による変更 (28)	
現代心理学ゼミDⅣ	4後		1				1	+		昇格による変更 (28)	
卒業論文	4通		4			2 3	+	2 1			昇格による変更 (26) 昇格による変更 (27)
小計 (36科目)	—		10	48	0	3 4	4 2	2 1	0	0	兼 7

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目 臨床心理学コース専門科目	臨床心理学Ⅰ	2前	2			1	+					昇格による変更(28)
	臨床心理学Ⅱ	2後	2			1						
	人格心理学Ⅰ	2前	2				1	+				
	人格心理学Ⅱ	2後	2				1	+				昇格による変更(26)
	心理検査法Ⅰ	3・4前		2								兼1 担当者変更(27)
	心理検査法Ⅱ	3・4後		2								兼1 堀江桂吾(兼任)→川崎舞子(兼任)
	精神医学	2・3・4前後		2								兼1 学生の履修に考慮して開講期の変更(28)
	学校心理学	2・3・4前		2								兼1
	医療心理学	2・3・4後前後		2								兼1 段階的な履修を行うため開講期の変更(27)
	カウンセリング論	2・3・4後		2			1					
	障害者援助論	2・3・4前		2								兼1
	精神病跡学	2・3・4前		2			1	+				昇格による変更(27)
	神経心理学	2・3・4後前		2								兼1 段階的な履修を行うため開講期の変更(27)
	言語心理学	2・3・4後		2								兼1
	比較行動学	2・3・4後		2								兼1
	発達臨床	2・3・4後		2								兼1
	心理療法論Ⅰ	3・4前		2			1	+				昇格による変更(28)
	心理療法論Ⅱ	3・4後		2			1	+				昇格による変更(28)
	臨床心理学実習	3前後		2								兼1 2コマ連続 退職による担当者変更とクラス数追加のための開講学期追加(27) 野中舞子(兼任)→藤代初穂(兼任)
	臨床心理学ゼミAⅠ	3前		1			1					
	臨床心理学ゼミAⅡ	3後		1			1					
	臨床心理学ゼミAⅢ	4前		1			1					
	臨床心理学ゼミAⅣ	4後		1			1					
	臨床心理学ゼミBⅠ	3前		1			1	+				昇格による変更(28)
	臨床心理学ゼミBⅡ	3後		1			1	+				昇格による変更(28)
	臨床心理学ゼミBⅢ	4前		1			1	+				昇格による変更(28)
	臨床心理学ゼミBⅣ	4後		1			1	+				昇格による変更(28)
	臨床心理学ゼミCⅠ	3前		1			1	+				
	臨床心理学ゼミCⅡ	3後		1			1	+				
	臨床心理学ゼミCⅢ	4前		1			1	+				昇格による変更(27)
	臨床心理学ゼミCⅣ	4後		1			1	+				
	臨床心理学ゼミDⅠ	3前		1			1	+				昇格による変更(28)
	臨床心理学ゼミDⅡ	3後		1			1	+				昇格による変更(28)
	臨床心理学ゼミDⅢ	4前		1			1	+				昇格による変更(28)
	臨床心理学ゼミDⅣ	4後		1			1	+				昇格による変更(28)
	卒業論文	4通		4			+	4	3	0		
小計(36科目)	—		10	48	0	+	3	+	0	0	兼10	教授数記載誤り訂正(27)
専門教育科目 小計(87科目)	—		35	107	0	6	4	2	0	0	兼20	
						7	3	+			15	
						8	2	0				
						9	3					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
博物館学芸員養成課程科目	省令必修科目	生涯学習論Ⅰ	4前 1・2	2							兼1	段階的な履修を行うため(26)		
		博物館概論	1・2前	2							兼1			
		博物館経営論	1・2前	2							兼1			
		博物館資料論	3前 2	2							兼1		段階的な履修を行うため(26)	
		博物館資料保存論	1・2後前	2							兼1			担当教員の出講の都合(28)
		博物館展示論	2後	2							兼1			
		博物館教育論	1・2前	2							兼1			
		博物館情報・メディア論	1・2後	2							兼1			
		博物館実習A	3後	1							兼2			
		博物館実習B	4前	1							兼2			
		博物館実習C	4通 3	2							兼1		段階的な履修を行うため(26)	
	小計(11科目)	—	0	2	18	0	0	0	0	0	兼5			
	基礎選択必修科目	世界のミュージアム	2・3前	2			1					兼3	オムニバス 担当授業数調整のため今年度は開講しない(28)	
		日本のミュージアム	2・3後 未開講	2								兼4		
西洋文化史		1・2後	2								兼1			
西洋美術の旅Ⅰ		2・3前	2								兼1			
西洋美術の旅Ⅱ		2・3後	2								兼1			
日本美術史入門 日本芸術入門		1後 未開講	2								兼1	退職による担当者変更(27) 岩崎和子(兼任)→津曲真一(兼任) 平成27年4月入学者より科目名称の変更がされていたため訂正(博物館学芸員要請課程科目かつ他学科(日本文化学科専門教育科目)の科目(28))		
日本美術史		1・2前	2								兼1			退職による担当者変更(27) 岩崎和子(兼任)→遠山元浩(兼任)
考古学	1・2後	2								兼1				
小計(8科目)	—	0	16	0	1	0	0	0	0	兼5 4				
博物館学芸員養成課程科目	専攻選択必修科目	異文化との出会いF(イタリヤ) イタリヤ文化紀行	2・3・4後 未開講	2								兼1	隔年開講のため(26) 授業調整のため開講しない(27) 平成27年4月入学者より科目名称の変更がされていたため訂正(博物館学芸員要請課程科目かつ他学科(国際文化学科専門教育科目)の科目(28))	
		映像人類学	2・3・4前	2								兼1		
		考古学Ⅰ	2・3・4前 未開講 2・3・4前	2								兼1		隔年開講のため(27) 隔年開講による開講(28)
		考古学Ⅱ	2・3・4前 未開講 2・3・4前 未開講	2								兼4		
		日本美術史Ⅰ 日本の文化財Ⅰ	2・3・4前	2								兼1		退職による担当者変更(27) 岩崎和子(兼任)→加島勝(兼任) 平成27年4月入学者より科目名称の変更がされていたため訂正(博物館学芸員要請課程科目かつ他学科(日本文化学科専門教育科目)の科目(28))
		日本美術史Ⅱ 日本の文化財Ⅱ	2・3・4後	2								兼1		
		文化交流史Ⅰ	2・3・4前	2								兼1		
		文化交流史Ⅱ	2・3・4後	2								兼1		
		民俗学Ⅰ	2・3・4前	2								兼1		
		民俗学Ⅱ	2・3・4後	2								兼1		
小計(10科目)	—	0	20	0	1	0	0	0	0	兼5				
博物館学芸員科目 小計(29科目)	—	0	38	18	1	0	0	0	0	兼10 12				

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合は、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 45	科目 151	科目 0	科目 196	科目 45 [-]	科目 151 [-]	科目 0 [-]	科目 196 [-]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	日本のミュージアム	2	2・3後	一般	選択科目	博物館学芸員養成課程科目かつ他学科科目（国際文化学科専門教育科目）であるが担当授業数調整のため今年度は開講しない。
2	考古学Ⅱ	2	2・3・4後	一般	選択科目	博物館学芸員養成課程科目かつ他学科科目（日本文化学科専門教育科目）で、隔年開講のため今年度は開講しない。
3	地球と宇宙	2	1・2後	一般	選択科目	担当者退職により平成28年度は後任未定。
4	物質と化学	2	1・2後	一般	選択科目	担当者退職により平成28年度は後任未定。

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 「平成28年度 該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

日本のミュージアムおよび考古学Ⅱは博物館学芸員要請課程科目かつ他学科の科目で、地球と宇宙および物質と化学は、全学科共通教育科目である。いずれも、昨年度は開講していることと、次年度は開講する予定であり、学生が在籍期間中に履修が可能となるよう配慮している。未開講については、年度の初めのオリエンテーションにおいて全学生に配布している学生便覧で周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{4}{196} = \boxed{2.04}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎敷地の一部及び 運動場用地は、駒沢 女子短期大学と共 用。 平成25年10月 箱根セミナーハウスを 売却したため(26)	
	校舎敷地	0 m ²	113,392 m ²	0 m ²	113,392 m ²		
	運動場用地	0 m ²	28,403 m ²	0 m ²	28,403 m ²		
	小 計	0 m ²	141,795 m ²	0 m ²	141,795 m ²		
	そ の 他	0 m ²	63,762 m ²	66,334 m ²	63,762 m ² 66,334 m ²		
	合 計	0 m ²	205,557 m ²	208,126 m ²	205,557 m ² 208,126 m ²		
(2) 校 舎	専 用	1,372 m ²	30,087 m ²	9,969 m ²	41,428 m ²	校舎の一部は駒 沢女子短期大学 と共用。	
	(1,372 m ²)	(30,087 m ²)	(9,969 m ²)	(41,428 m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	(補助職員 2 人) (補助職員 0 人)	
	38 室	25 室	50 室	6 室	1 室		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数			
	人文学部 心理学科			12 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点
	心理学科	102 [24] (45 [0])	29 [9] (29 [9])	1 [0] (1 [0])	44 (41)	42 (42)	0 (0)
	計	102 [24] (45 [0])	29 [9] (29 [9])	1 [0] (1 [0])	44 (41)	42 (42)	0 (0)
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		
	4,889 m ²		325		293,140 冊		
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				
	1,726 m ²		テ ニ ス コ ー ト 3 面				
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
	教員1人当り研究費等	360千円	360千円	図書購入費	1,500千円	1,500千円	1,000千円
	共同研究費等	— 千円	— 千円	設備購入費	0千円 2,000千円	18,410千円 4,000千円 2,000千円	0千円 1,000千円
	学生1人当り 納付金	第1年次 1,366千円 1,316千円	第2年次 1,016千円	第3年次 1,016千円	第4年次 1,016千円	第5年次 千円	第6年次 千円
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用、雑収入等				

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	〇〇大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文科学研究科 仏教文化専攻	2	5		10	修士 (文学)	0.30	平成14年度	東京都稲城市坂浜238番地	
臨床心理学専攻	2	20		40	修士 (心理学)	0.55	平成15年度	同上	
人部学部									
日本文化学科	4	60	3年次 10	260	学士 (日本文化)	0.97	平成5年度	同上	
国際文化学科	4	120	3年次 20	520	学士 (国際文化)	0.72	平成5年度	同上	
人間関係学科	4	60		330	学士 (人間関係)	0.98	平成12年度	同上	
心理学科	4	90		270	学士 (心理学)	1.03	平成25年度	同上	
住空間デザイン学科※	4	60		240	学士 (住空間デザイン)	0.90	平成14年度	同上	※平成26年度より空間造形学科が住空間デザインの学科に名称変更
メディア表現学科※	4	60		240	学士 (メディア表現)	0.58	平成14年度	同上	※平成26年度より映像コミュニケーション学科がメディア表現学科に名称変更
人間健康学部 健康栄養学科	4	80		320	学士 (健康栄養)	1.07	平成21年度	同上	
大学の名称	駒沢女子短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
保育科	2	130	-	260	短期大学士 (保育)	0.91	昭和40年度	東京都稲城市坂浜238番地	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<人文学部 心理学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授 (学科主任)	須藤 明 (54)	平成25年4月	基礎ゼミⅢ 心理学の基礎Ⅱ 学外実習 犯罪心理学Ⅰ 犯罪心理学Ⅱ 家族心理学 現代心理学ゼミAⅠ 現代心理学ゼミAⅡ 現代心理学ゼミAⅢ 現代心理学ゼミAⅣ 卒業論文	専	教授	富士原 光洋 (54)	平成26年4月	基礎ゼミⅢ	平成26年4月 担当授業数調整により担当者の変更(26)
専	教授	相羽 直實 (64)	平成25年4月	英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 基礎ゼミⅢ	専	教授	鈴木 賢司 (60)	平成25年4月	英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 基礎ゼミⅢ	平成25年3月 相羽直實教授辞任のため平成25年度より担当者の変更(25) 平成26年4月 クラス数増加による担当授業数調整のため担当者の変更(26)
専	教授	蘭 香代子 (63)	平成25年4月	教育心理学 臨床心理学Ⅱ カウンセリング論 臨床心理学ゼミAⅠ 臨床心理学ゼミAⅡ 臨床心理学ゼミAⅢ 臨床心理学ゼミAⅣ 卒業論文						
専	教授	糟谷 恵次 (59)	平成25年4月	ヨーロッパの文学 基礎ドイツ語Ⅰ 基礎ドイツ語Ⅱ 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 基礎ゼミⅢ 文芸と心理 世界のミュージアム						
専	教授	富士原 光洋 (53)	平成25年4月	基礎ゼミⅠ						平成27年4月 担当授業数調整により担当しない(27)
				基礎ゼミⅡ	専	教授	富士原 光洋 (55)	平成25年4月	基礎ゼミⅢ	平成27年4月 担当授業数調整のため科目の追加(27)
				心理学実験実習Ⅰ	専	教授	富士原 光洋 (54)	平成25年4月	心理学実験実習Ⅱ	平成26年4月 担当授業数調整のため科目の追加(26)
				心理学研究法Ⅰ 心理学研究法Ⅱ 学外実習 現代心理学実習 現代心理学ゼミBⅠ 現代心理学ゼミBⅡ 現代心理学ゼミBⅢ 現代心理学ゼミBⅣ 卒業論文						
専	教授	保坂 律子 (53)	平成25年4月	教養知AⅠ 教養知AⅡ 基礎中国語Ⅰ 基礎中国語Ⅱ 中国語ⅠA 中国語ⅡA 中国語ⅢA 中国語ⅣA 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 基礎ゼミⅢ 言葉と心理						平成26年4月 担当授業数調整により担当しない(26)

設置時の計画					変更状況					備考			
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名				
専	准教授	米金 孝雄 (50)	平成25年4月	基礎フランス語Ⅰ	教授					平成26年4月 担当授業数調整により担当しない(26)			
				基礎フランス語Ⅱ						平成26年4月 米金孝雄 准教授から教授に昇任 (26)			
				フランス語ⅠA フランス語ⅡA						平成27年4月 担当クラスの見直しにより担当しない (27)			
				フランス語ⅢA フランス語ⅣA						平成27年4月 担当クラスの見直しにより担当しない (27)			
				フランス語ⅠB フランス語ⅡB						平成28年4月 担当クラスの見直しにより担当しない (28)			
				フランス語ⅢB フランス語ⅣB									
				基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 基礎ゼミⅢ 言葉と心理									
専	准教授	藤城 有美子 (45)	平成25年4月	臨床心理学Ⅰ 心理療法論Ⅱ 臨床心理学ゼミⅠ 臨床心理学ゼミⅡ 臨床心理学ゼミⅢ 臨床心理学ゼミⅣ 卒業論文	教授				平成28年4月 藤城有美子 准教授から教授に昇任 (28)				
専	准教授	松岡 努 (44)	平成25年4月	基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 基礎ゼミⅢ						平成26年4月 担当授業数調整により担当しない(26)			
				精神病学 臨床心理学ゼミⅠ 臨床心理学ゼミⅡ 臨床心理学ゼミⅢ 臨床心理学ゼミⅣ 卒業論文						平成26年4月 准教授から教授に昇任 (27)			
専	准教授	藤川 麗 (40)	平成25年4月	基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 基礎ゼミⅢ コミュニティ心理学 心理療法論Ⅰ 臨床心理学ゼミⅠ 臨床心理学ゼミⅡ 臨床心理学ゼミⅢ 臨床心理学ゼミⅣ 卒業論文	教授					平成28年4月 藤川麗 准教授から教授に昇任 (28)			
専	講師	丸山 慎 (40)	平成25年4月	基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 基礎ゼミⅢ 心理学の基礎Ⅰ	兼任	講師	丸山 慎 (41)	平成26年4月	心理学実験実習Ⅰ	平成26年4月 担当授業数調整のため科目の追加(26)			
				心理学実験実習Ⅱ 学外実習						奥野 真之 (36)	平成27年4月	心理学実験実習Ⅰ 心理学実験実習Ⅱ	平成27年4月 担当授業数調整により担当者の変更 (27)
				発達心理学Ⅰ 発達心理学Ⅱ 現代心理学実習 現代心理学ゼミⅠ 現代心理学ゼミⅡ 現代心理学ゼミⅢ 現代心理学ゼミⅣ 卒業論文									
専	講師	石津 和子 (36)	平成25年4月	学外実習 産業心理学 人格心理学Ⅰ 人格心理学Ⅱ 現代心理学ゼミⅠ 現代心理学ゼミⅡ 現代心理学ゼミⅢ 現代心理学ゼミⅣ 卒業論文	准教授					平成26年4月 准教授に昇任 (26)			

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授(学長)	光田 督良(61)	平成26年9月	教養知A I 教養知A II				平成26年4月	駒沢女子大学入門	平成28年4月 担当授業数調整により担当しない。教養知A IIは他に担当者が複数いるため支障はない(28) 平成26年4月 授業内容の充実をはかり担当教員を増員(26)
兼任	教授(学部長)	羽鳥 修(58)	平成25年9月	世界の歴史 世界のミュージアム	兼任	講師	高草木 邦人	平成25年9月	世界の歴史	平成25年3月 学校事情により担当者変更(25)
兼任	教授	戸田 洋樹(70)	平成25年9月	倫理学	兼任	講師	鈴木 由加里(49)	平成26年4月	倫理学	平成26年3月 戸田洋樹教授定年退職により担当者変更(26)
兼任	教授	亘 純吉(66)	平成26年4月	教養知B I 教養知B II 映像人類学 民俗学 I 民俗学 II	兼任	准教授	明田川 紀彦(43)	平成25年4月	教養知B I 教養知B II	平成28年4月 担当者授業数調整により亘純吉教授から明田川紀彦准教授に担当者変更(28)
兼任	教授	藤田 啓子(66)	平成25年4月	西洋文化史 博物館実習A 博物館実習B 世界のミュージアム 日本のミュージアム 西洋美術の旅 I 西洋美術の旅 II 異文化との出会いF(イタリア)					1977文化紀行	平成27年4月入学者より科目名称の変更がされていたため訂正(博物館学委員要請課程科目かつ他学科(国際文化学科専門教育科目)の科目(28)
兼任	教授	芝山 正治(63)	平成25年4月	スポーツ I スポーツ II	兼任	講師	塩嶋 理恵(41)	平成25年4月	スポーツ I	平成28年3月 芝山正治教授辞任のため塩嶋理恵講師に担当者変更(28)
兼任	教授	小川 誠(58)	平成25年9月	考古学 博物館実習A 博物館実習B 考古学 I 考古学 II					駒沢女子大学入門	平成26年4月 授業内容の充実をはかり担当教員を増員(26)
兼任	教授	安藤 嘉則(55)	平成25年4月	仏教学 I 仏教学 II 仏教学IV 駒沢女子大学入門 教養知A I 教養知A II	兼任	講師	中野 良教(61)	平成25年4月	仏教学IV	平成27年4月 担当授業数調整により担当者の変更(27)
兼任	教授	加藤 ナツ子(61)	平成25年4月	スペイン語ⅠA スペイン語ⅡA スペイン語ⅢA スペイン語ⅣA スペイン語ⅠB スペイン語ⅡB スペイン語ⅢB スペイン語ⅣB 世界のミュージアム						平成27年4月 担当クラスの見直しにより担当しない(27)
兼任	教授	鈴木 眞(61)	平成25年4月	基礎フランス語 I 基礎フランス語 II フランス語ⅠA フランス語ⅡA フランス語ⅢA フランス語ⅣA フランス語ⅠB フランス語ⅡB フランス語ⅢB フランス語ⅣB						平成27年4月 担当クラスの見直しにより担当しない(27) 平成27年4月 担当クラスの見直しにより担当しない(27)
兼任	教授	臼井 実穂子(57)	平成26年9月	教養知B I 教養知B II				平成25年4月 平成26年4月	社会と教養演習A 社会と教養演習C 駒沢女子大学入門	平成28年4月 授業内容の充実をはかり担当教員を増員(28) 平成26年4月 授業内容の充実をはかり担当教員を増員(26)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	佐々木 俊道 (53)	平成25年4月	仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 仏教学Ⅲ				平成26年4月	駒沢女子大学入門	平成26年4月 授業内容の充実を はかり担当教員を増員(26)
兼任	教授	篠 政行 (59)	平成25年4月	情報と科学 コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅲ コンピュータ演習Ⅳ	兼任	教授	末木 俊之 (55)	平成26年4月	情報と科学	平成26年4月 担当授業数調整に より担当者の変更(26)
兼任	教授	末木 俊之 (54)	平成25年4月	コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ コンピュータ演習Ⅲ コンピュータ演習Ⅳ	兼任	講師	岡本 教佳 (57)	平成26年4月	コンピュータ演習Ⅲ コンピュータ演習Ⅳ	平成26年4月 担当授業数調整の ため担当者変更(26)
兼任	教授	弥久保 宏 (52)	平成25年4月	世界の政治						
兼任	教授	福王 守 (47)	平成25年4月	法学						
兼任	教授	千葉 公慈 (48)	平成25年4月	仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 仏教学Ⅳ				平成26年4月	駒沢女子大学入門	平成26年4月 授業内容の充実を はかり担当教員を増員(26)
兼任	准教授	Anne W. Young (61)	平成25年4月	英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ	兼任	講師	モリス・ジョン・ ホール (36)	平成27年4月	英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ	平成27年3月 Anne W. Young准教授辞任のため 平成27年度より担当者の変更 (27)
兼任	准教授	池田 節子 (58)	平成25年4月	日本の文学 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ	兼任	教授	松村 良 (51)	平成26年4月	日本の文学	平成26年4月 担当授業数調整に より担当者の変更(26)
兼任	准教授	磯谷 慶子 (58)	平成26年9月	教養知AⅠ 教養知AⅡ						
兼任	准教授	明田川 紀彦 (43)	平成25年4月	コンピュータ演習Ⅰ					コンピュータ演習Ⅱ	平成26年4月 担当授業数調整に より担当科目の追加(26)
兼任	准教授	榎本 環 (50)	平成26年9月	教養知BⅠ 教養知BⅡ					駒沢女子大学入門	平成26年4月 授業内容の充実を はかり担当教員を増員(26) 平成28年4月 担当授業数調整に より担当しない(28)
兼任	准教授	皆川 義孝 (45)	平成25年4月	仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 仏教学Ⅲ	兼任	講師	中野 良教 (60)	平成25年4月	仏教学Ⅲ	平成26年4月 担当授業数調整に より担当者の変更(26)
兼任	講師	橘田 布佐子 (55)	平成25年4月	英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ	兼任	講師	秋草一俊一郎 (35) 岩本 浩樹 (25)	平成27年4月 平成28年4月	英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ	平成27年4月 担当授業見直しに よる担当者の変更(27) 平成28年4月 秋草俊一郎講師辞 任のため平成28年度より岩本浩 樹講師に担当者変更(28)
兼任	講師	岡本 啓宏 (54)	平成25年4月	コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ	兼任	教授	篠 政行 (60)	平成26年4月	コンピュータ演習Ⅰ	平成26年4月 担当学科の変更 により担当者の変更(26)
兼任	講師	下川 雅弘 (38)	平成25年4月	日本の歴史	兼任	講師	Suwat Charoennibhonvani ch(56)	平成26年4月	コンピュータ演習Ⅱ	平成26年4月 授業内容の充実を はかり担当教員を増員(26)
兼任	講師	鈴木 一馨 (48)	平成25年4月	日本の歴史	兼任	准教授 講師	鈴木 一馨 (48)	平成26年4月	日本の歴史	平成26年4月 松山響子 講師から准教授に昇任(26) 平成27年4月 授業時間帯調整のため担当者変 更(27)
兼任	講師	松山 響子 (35)	平成25年4月	英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ 英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ	兼任	准教授 講師	Anne W. Young (61) タロン・ブラザ (45)	平成26年4月 平成27年4月	英語BⅠ 英語BⅡ	平成26年4月 松山響子 講師から准教授に昇任(26) 平成26年4月 クラス数増加による担当授業数 調整のため担当者の変更(26) 平成26年3月 Anne W. Young准教授辞任のため 担当者変更(27)

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	講師	茂木 弥生子 (38)	平成25年4月	コンピュータ演習Ⅰ						平成26年4月 担当授業数調整により担当しない(26)
兼任	講師	大貫 恵佳 (34)	平成25年4月	社会学Ⅰ 社会学Ⅱ						
兼任	講師	石川 創 (31)	平成25年4月	言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ						
兼任	講師	可児 和子 (65)	平成26年4月	社会福祉援助論 障害者援助論						
兼任	講師	羽田 積男 (65)	平成25年4月	生涯学習論Ⅰ	兼任	講師	古屋 真 (31)	平成28年4月	生涯学習論Ⅰ	平成28年3月羽田積男講師辞任のため平成28年4月より古屋真講師に担当者変更(28)
兼任	講師	荻野 孝野 (64)	平成25年4月	日本語RⅠB 日本語RⅡB 日本語RⅢB 日本語RⅣB						
兼任	講師	阪本 史代 (64)	平成26年4月	日本事情Ⅲ 日本事情Ⅳ	兼任	講師	中尾 真樹 (51)	平成25年4月	日本事情Ⅲ 日本事情Ⅳ	平成27年3月 坂本史代講師辞任のため平成27年度より担当者の変更(27)
兼任	講師	前澤 博一 (64)	平成25年9月	世界の経済	兼任	講師	島田一裕司 (59) 斎藤 英明 (35)	平成26年4月 平成28年4月	世界の経済	平成26年3月 前澤博一講師辞任のため担当者の変更(26) 平成28年3月 島田裕司講師辞任のため斎藤英明講師に担当者変更(28)
兼任	講師	井出 洋一郎 (63)	平成25年4月	博物館経営論 博物館資料保存論 博物館教育論 博物館情報・メディア論						
兼任	講師	岩崎 和子 (63)	平成25年4月	日本美術史 日本美術史入門 日本美術史Ⅰ 日本美術史Ⅱ	兼任	講師	遠山 元浩 (46) 津曲 真一 (43) 加島 勝 (59)	平成27年4月 平成27年4月 平成27年4月	日本美術史 日本美術史入門 日本芸術入門 日本美術史Ⅰ 日本の文化財Ⅰ 日本美術史Ⅱ 日本の文化財Ⅱ	平成27年3月 岩崎和子講師辞任のため平成27年度より担当者の変更(27) 平成27年3月 岩崎和子講師辞任のため平成27年度より担当者の変更(27) 平成27年4月入学者より科目名称の変更がされていたため訂正(博物館学委員要請課程科目かつ他学科(日本文化学科専門教育科目)の科目(28)) 平成27年3月 岩崎和子講師辞任のため平成27年度より担当者の変更(27) 平成27年4月入学者より科目名称の変更がされていたため訂正(博物館学委員要請課程科目かつ他学科(日本文化学科専門教育科目)の科目(28))
兼任	講師	藤村 敬二 (61)	平成26年4月	精神医学						
兼任	講師	徳島 陽子 (60)	平成25年4月	日本語RⅠA 日本語RⅡA 日本語RⅢA 日本語RⅣA 日本事情Ⅰ 日本事情Ⅱ	兼任	講師	阪本 史代 (63) 中尾 真樹 (51) 荻野 孝野 (64)	平成25年4月 平成25年4月 平成25年4月	日本語RⅠA 日本語RⅡA 日本語RⅢA 日本語RⅣA 日本事情Ⅰ 日本事情Ⅱ	平成25年3月 徳島陽子講師辞任のため平成25年度より担当者の変更(25) 平成27年3月 阪本史代講師辞任のため平成27年度より担当者の変更(27) 平成25年3月 徳島陽子講師辞任のため平成25年度より担当者の変更(25)
兼任	講師	中野 良教 (59)	平成25年4月	仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ					仏教学Ⅲ 仏教学Ⅳ	平成26年4月 担当授業数調整により担当科目の変更(26)
兼任	講師	木庭 真美子 (58)	平成25年4月	英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ 英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ						
兼任	講師	木下 令子 (57)	平成25年4月	基礎スペイン語Ⅰ 基礎スペイン語Ⅱ スペイン語ⅠA スペイン語ⅡA スペイン語ⅢA スペイン語ⅣA スペイン語ⅠB スペイン語ⅡB スペイン語ⅢB スペイン語ⅣB						平成27年4月 担当クラスの見直しにより担当しない(27)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	宮脇 裕子 (57)	平成25年4月	英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ 英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ						
兼任	講師	山口 和美 (57)	平成25年4月	博物館概論 博物館資料論 博物館展示論 博物館実習C						
兼任	講師	Suwat Charoennibhonvanich (56)	平成25年4月	コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅲ コンピュータ演習Ⅳ						平成26年4月 担当授業数調整により担当しない(26)
兼任	講師	多田 知恵 (56)	平成25年4月	英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ 英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ						
兼任	講師	川上 真巳子 (54)	平成25年4月	英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ 英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ						
兼任	講師	余 瀾 (52)	平成25年4月	中国語ⅠA 中国語ⅡA 中国語ⅢA 中国語ⅣA 中国語ⅠB 中国語ⅡB 中国語ⅢB 中国語ⅣB						平成27年4月 担当クラスの見直しにより担当しない(27)
兼任	講師	河合 忍 (50)	平成25年4月	生命の科学 生物と生命						
兼任	講師	小田島 則子 (50)	平成25年4月	英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ						
兼任	講師	鎌田 浩二 (50)	平成25年4月	英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ	兼任	講師	大石 瑤子 (28)	平成25年4月	英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ	平成25年3月鎌田浩二講師辞任のため平成25年度より担当者の変更(25) 平成26年4月 クラス数増加による担当授業数調整のため担当者の変更(26)
兼任	講師	杉原 光雄 (50)	平成25年4月	コンピュータ演習Ⅰ 心理学実験実習Ⅰ 心理学実験実習Ⅱ 心理統計法Ⅰ 心理統計法Ⅱ 認知心理学 言語心理学						平成26年4月 担当授業数調整により担当しない(26)
兼任	講師	浅田 裕子 (49)	平成25年4月	英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ	兼任	講師	本村一万喜子 (39) 杉田 貴瑞 (29)	平成26年4月 平成28年4月	英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ	平成26年3月 浅田裕子講師辞任のため担当者の変更(26) 平成28年4月 クラスの調整による担当者の変更(28)
兼任	講師	王 聰 (49)	平成25年4月	中国語ⅠB 中国語ⅡB 中国語ⅢB 中国語ⅣB	兼任	講師	西端 彩 (31)	平成25年4月	中国語ⅠB 中国語ⅡB 中国語ⅢB 中国語ⅣB	平成25年3月 王聰講師辞任のため 平成25年度より担当者の変更(25)
兼任	講師	佐々木 竜介 (49)	平成25年9月	新聞と報道						
兼任	講師	鈴木 由加里 (48)	平成25年4月	人間と思想Ⅰ 人間と思想Ⅱ						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	田中 規子 (48)	平成25年4月	心理学Ⅰ 心理学Ⅱ 心理学実験実習Ⅰ 心理学実験実習Ⅱ						
兼任	講師	鈴木 一馨 (47)	平成26年4月	文化交流史Ⅰ 文化交流史Ⅱ	兼任	准教授	下川 雅弘 (39)	平成26年4月	文化交流史Ⅰ 文化交流史Ⅱ	平成26年4月 担当授業数調整により担当者の変更(26)
兼任	講師	三辻 浩子 (47)	平成25年4月	スポーツⅠ スポーツⅡ	兼任	講師	塩嶋 理恵 (41)	平成25年4月	スポーツⅠ	平成28年3月 芝山正治教授辞任による科目担当者の調整(28)
兼任	講師	江連 成美 (46)	平成25年4月	英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ 英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ	兼任	講師	吉田 明代 (39)	平成26年4月	英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ	平成26年4月 クラス数増加による担当授業数調整のため担当者の変更(26)
兼任	講師	竹田 葉留美 (46)	平成26年4月	心理学英語講義 学校心理学						
兼任	講師	森脇 由紀子 (46)	平成27年4月	対人援助論Ⅰ 対人援助論Ⅱ						
兼任	講師	小早川 浩六 (45)	平成25年4月	仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ						
兼任	講師	佐々木 千恵 (45)	平成25年4月	英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ						
兼任	講師	古澤 有可 (45)	平成25年9月	進路設計 社会と教養演習A 社会と教養演習B 社会と教養演習C キャリアリテラシー	兼任	講師	野々垣 みどり (45)	平成27年4月	進路設計 社会と教養演習A 社会と教養演習B	平成27年3月 古澤有可講師辞任のため平成27年度より担当者の変更(27)
					兼任	講師	三宮 わかな (34)	平成26年4月	社会と教養演習C	平成26年4月 担当授業数調整により担当者の変更(26)
					兼任	講師	永久 理恵 (55)	平成27年4月	キャリアリテラシー	平成27年3月 古澤有可講師辞任のため平成27年度より担当者の変更(27)
兼任	講師	田所 承己 (44)	平成25年4月	社会学Ⅰ 社会学Ⅱ	兼任	講師	森脇 由紀子 (44)	平成25年4月	社会学Ⅰ 社会学Ⅱ	平成25年3月 田所承己講師辞任のため平成25年度より担当者の変更(25) 平成28年4月 担当する学部の変更。社会学Ⅰ・社会学Ⅱは他に担当教員が1名いるため支障はない。(28)
兼任	講師	池上 俊彦 (43)	平成25年4月	英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ						
兼任	講師	岸 太一 (43)	平成26年9月	健康心理学						
兼任	講師	Callens D. Marc (42)	平成25年4月	フランス語ⅠA フランス語ⅡA フランス語ⅢA フランス語ⅣA フランス語ⅠB フランス語ⅡB フランス語ⅢB フランス語ⅣB	兼任	講師	久保田 静香 (41)	平成25年4月	フランス語ⅠA フランス語ⅡA フランス語ⅢA フランス語ⅣA	平成25年3月 Callens講師辞任のため平成25年度より担当者の変更(25)
					兼任	講師	松村 悠子 (37)	平成27年4月	フランス語ⅠB フランス語ⅡB フランス語ⅢB フランス語ⅣB	平成27年3月 久保田静香講師辞任のため平成27年度よりフランス語ⅢA・フランス語ⅣAの担当者変更(27)
兼任	講師	玉木 宗久 (42)	平成26年9月	神経心理学						
兼任	講師	塩嶋 理恵 (41)	平成25年4月	スポーツⅠ スポーツⅡ						
兼任	講師	永房 典之 (41)	平成26年4月	社会心理学Ⅰ 社会心理学Ⅱ 消費者心理学 発達臨床						
兼任	講師	黒瀬 志保 (40)	平成25年4月	ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅡA ドイツ語ⅢA ドイツ語ⅣA ドイツ語ⅠB ドイツ語ⅡB ドイツ語ⅢB ドイツ語ⅣB					基礎ドイツ語Ⅰ 基礎ドイツ語Ⅱ	平成26年4月 担当授業数調整のため科目の追加(26)
										平成27年4月 担当クラスの見直しにより担当しない(27)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	堀江 桂吾 (39)	平成27年4月	心理検査法Ⅱ	兼任	講師	州崎落合 舞子 (29)	平成26年4月	心理検査法Ⅱ	平成27年3月 堀江桂吾講師辞任のため担当者の変更(27) 平成28年4月 担当教員の婚姻による氏名変更(28)
兼任	講師	跡守 美音 (38)	平成25年4月	ドイツ語ⅠA						平成27年4月 担当クラスの見直しにより担当しない(27)
				ドイツ語ⅡA						
				ドイツ語ⅢA ドイツ語ⅣA ドイツ語ⅠB ドイツ語ⅡB ドイツ語ⅢB ドイツ語ⅣB						
兼任	講師	小林 ゆきの (38)	平成25年4月	英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ	専任	教授	鈴木 賢司 (60)	平成26年4月	英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ	平成26年3月 小林ゆきの講師辞任のため担当者の変更(26)
兼任	講師	吉田 明代 (38)	平成25年4月	英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ	兼任	講師	豊島 実和 (36)	平成26年4月	英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ	平成26年4月 クラス数増加による担当授業数調整のため担当者の変更(26)
兼任	講師	吉野 菜穂子 (38)	平成25年4月	心理学Ⅰ 心理学Ⅱ	兼任	講師	竹田 葉留美 (46)	平成26年4月		平成26年4月 駒沢女子大学人間健康学部健康栄養学科専任講師として採用(26) 平成28年4月 担当授業数調整のため担当者の変更(28)
兼任	講師	牧野 冬生 (37)	平成25年4月	人間と文化 コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ						
兼任	講師	最上 裕司 (37)	平成25年9月	進路設計						
兼任	講師	相ヶ瀬 千草 (36)	平成25年4月	言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ 社会と教養演習D						
兼任	講師	小畑 瓦平 (36)	平成25年4月	数学の世界						
兼任	講師	伊藤 由紀 (34)	平成25年4月	英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ	兼任	講師	小泉 勇人 (31)	平成27年4月	英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ	平成27年3月 伊藤由紀講師辞任のため平成27年度より担当者の変更(27)
兼任	講師	秋草 俊一郎 (33)	平成25年4月	英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ	兼任	講師	山本一長紀 (26) R. モロー (45)	平成25年4月 平成26年4月	英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ	平成25年3月秋草俊一郎講師辞任のため平成25年度より担当者の変更(25) 平成26年3月 山本長紀講師の辞任のため担当者の変更(26)
兼任	講師	樋山 恭助 (33)	平成25年9月	物理の世界	兼任	講師	佐藤一夫介 (38) 小畑 瓦平 (37)	平成25年9月 平成25年9月	物理の世界	平成25年3月 樋山恭助講師辞任のため平成25年度から担当者変更(25) 平成28年3月 佐藤大介講師辞任のため平成28年度から小畑瓦平講師に担当者変更(28)
				地球と宇宙	兼任	講師	丹崎一竜壺 (29) 後任未定	平成25年9月	地球と宇宙	平成25年3月 樋山恭助講師辞任のため平成25年度から担当者変更(25) 平成28年3月 月崎竜壺講師辞任で後任未定(28)
				物質と化学	兼任	講師	佐藤一夫介 (38) 後任未定	平成25年9月	物質と化学	平成25年3月 樋山恭助講師辞任のため平成25年度から担当者変更(25) 平成28年3月 佐藤大介講師辞任で後任未定(28)
兼任	講師	石原 房子 (32)	平成26年9月	高齢者心理学						
兼任	講師	薬師 英子 (32)	平成25年4月	英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ 英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ						
兼任	講師	刺田 昌信 (31)	平成25年4月	英語BⅠ 英語BⅡ	兼任	講師	大石 瑠子 (29)	平成26年4月	英語BⅠ 英語BⅡ	平成26年4月 刺田昌信講師辞任により担当者の変更(26)
				英語BⅢ	兼任	准教授	Anne W. Young (61) 杉野 知恵 (41)	平成26年4月 平成27年4月	英語BⅢ	平成27年3月 Anne W. Young准教授辞任のため平成27年度より担当者の変更(27)
				英語BⅣ	兼任	教授	中野 達也 (54)	平成28年4月	英語BⅣ	平成28年4月 担当授業数調整のため杉野知恵准教授より中野達也教授に変更(28)
兼任	講師	満石 寿 (30)	平成26年9月	スポーツ心理学	兼任	講師	嘉瀬 貴祥 (25)	平成26年4月	スポーツ心理学	平成26年3月 満石寿講師辞任のため担当者の変更(26)

設置時の計画				変更状況				備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月		
兼任	講師	小泉 勇人 (29)	平成25年4月		兼任	講師	本村 万喜子 (39)	平成25年4月	英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ 平成25年3月 小泉勇人講師辞任のため平成25年度から担当者変更 (25)
兼任	講師	平野 真理 (29)	平成26年9月		兼任	講師	川崎落合 舞子 (29)	平成26年4月	心理検査法Ⅰ 平成26年3月 平野真理講師辞任。後任未定 (26) 平成26年3月 平野真理講師辞任のため担当者の変更 (27) 平成28年4月 担当教員の婚姻による氏名変更 (28)
					兼任	講師	川崎落合 舞子 (29)	平成26年4月	医療心理学 平成26年3月 平野真理講師辞任のため担当者の変更 (26) 平成28年4月 担当教員の婚姻による氏名変更 (28)
					兼任	講師	野中 舞子 (27) 綾城 初穂 (32)	平成26年4月 平成27年4月	臨床心理学実習 平成26年3月 平野真理講師辞任のため担当者の変更 (26) 平成27年3月 野中舞子講師辞任のため担当者の変更 (27)
兼任	講師	石島 このみ (27)	平成26年9月						比較行動学
兼任	講師	宇佐美 かおる (51)	平成25年4月		兼任	講師	丸山 麻子 (34)	平成25年4月	スポーツⅠ 平成25年3月 宇佐美かおる講師辞任のため平成25年度から担当者変更 (25)
					兼任	講師	嶋嶋 理恵 (41)	平成25年9月	スポーツⅡ
					兼任	講師	龍谷 孝道 (30)	平成26年4月	仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 平成26年4月 担当授業数調整により担当者変更 (26)
					兼任	講師	松本 百合子 (26) 鳥居 創 (26)	平成26年4月 平成26年9月	英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ 平成26年4月 クラス数増加のため増員 (26) 平成26年9月 松本百合子兼任講師辞任のため担当者変更 (27)
					兼任	講師	小田倉アビゲール (29) タロン・プラザ (45)	平成26年4月 平成27年4月	英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ 平成26年4月 クラス数増加のため増員 (26) 平成26年4月 小田倉アビゲール講師辞任のため担当者変更 (27)
					兼任	講師	R-モーレル (35) モリス・ヨサン・ポール (36)	平成26年4月 平成27年4月	英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ 平成26年4月 クラス数増加のため増員 (26) 平成27年9月 R-モーレル講師辞任のため平成27年9月よりモリス・ヨサン・ポール講師に担当者変更 (28)
					兼任	講師	豊島 実和 (36)	平成26年4月	英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ 平成26年4月 クラス数増加のため増員 (26)
					兼任	教授	松村 良 (51)	平成26年4月	言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ 平成26年4月 担当授業数調整により担当者の変更 (26)
					兼任	講師	中尾 真樹 (50)	平成25年4月	言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ 平成26年4月 担当授業数調整により担当者の増員 (26)
					兼任	講師	高橋 浩 (49) 三宮 わかな (34)	平成26年4月 平成26年4月	進路設計 進路設計 平成26年4月 クラス数増加のため増員 (26) 平成28年3月 高橋浩講師辞任により三宮わか那講師に担当者変更
					兼任	准教授	杉野 知恵 (41)	平成27年4月	英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ 平成27年4月 クラス数増加のため増員 (27)
					兼任	講師	小泉 勇人 (31)	平成25年4月	英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ 平成27年4月 クラス数増加のため増員 (27)
					兼任	講師	松村 悠子 (37)	平成27年4月	基礎フランス語Ⅰ 基礎フランス語Ⅱ 平成28年4月 クラス数増加のため増員 (28)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
6	4	2	0	12	10	2	0	0	12	10	2	0	0	12
(6)	(4)	(2)	(0)	(12)						[4]	[Δ2]	[Δ2]	[0]	[0]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
- ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 - ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
平成16年度以前採用者 70歳 平成17年度以降採用者 65歳	0 名	0 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	相羽 直實	必修	英語B I	①	一身上の都合により平成25年3月31日付、駒沢女子大学を退職したため(25)			
			18.1	英語B II	①				
			必修	英語BIII	①				
			必修	英語BIV	①				
			必修	基礎ゼミ I	①				
			必修	基礎ゼミ II	①				
			必修	基礎ゼミ III	①				
2									
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)				
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
1	人	必修	7	科目	必修	7	科目	必修	科目
		選択		科目	選択		科目	選択	科目
		自由		科目	自由		科目	自由	科目
		計	7	科目	計	7	科目	計	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況 「該当なし」

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1						
2						
合計 (C)				後任補充状況の集計 (D)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)			後任補充状況の集計 (B) + (D)			
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1 人	必修	7 科目	必修	7 科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	7 科目	計	7 科目	計	科目

- (注) ・ 就任辞退 (未就任) 及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

交代にあたっては、学内から前任者と同じ英語担当の教授を充当しており、また学生に対しては、学生便覧及び履修相談等により周知を図っている。(25)

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (届出申請のため該当なし)		留意事項	
設置計画履行状況 調 査 時 (26年5月)	人文学部空間造形学科、映像コミュニケーション学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	留意事項	空間造形学科は、住空間デザイン学科への科名変更と産学連携、地域貢献の効果で、対前年比4割弱の入学者増加が実現できた。 映像コミュニケーション学科はメディア表現学科へと科名変更した効果が表れず、大きく変わっていないが、定員充足に努力中である。そこで、卒業生の満足度調査を実施し、入在学生の追跡調査を計画中である。
設置計画履行状況 調 査 時 (27年5月)	1. 近年、帰属収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。 2. 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(駒沢女子大学 人文学部 空間造形学科、映像コミュニケーション学科)	留意事項	1. 平成25年4月より第1次中期計画をスタートし、その中の柱となる項目として経営改革を掲げている。単年度収支の改善に向けて、一方では学生確保に様々な方策で取り組み、他方では、人件費を含めた支出の全面的抑制を実施中である。これを実現するために予算策定段階から個別経費についての厳格な対応を図っている。 2. 平成26年度から両学科の名称変更および学生募集方法の改善を行ったところだが、入学者数増加の効果が現れてくるまで2~3年は要すると思われる。この効果が見受けられない場合は抜本的見直しを図る方針である。
設置計画履行状況 調 査 時 (28年2月)	既設学部(人文学部メディア表現学科)の定員充足率が0.7未満となっていることから、学生確保に努めるとともに入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	指摘されている「メディア表現学科」については平成25年度にカリキュラム変更、平成26年度には学科名の変更もを行い、学生確保についているところだが、平成28年度も入学者も定員の0.7未満となる見込み。 大学内に教員で構成する「将来構想委員会」を発足させ、大学全体の対応を検討している。当該学科については、平成30年度から募集停止を前提に準備している。

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

<人文学部 心理学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
① 施設・設備 心理学実習室4室 180.40㎡ : 1室 111.10㎡ : 1室 91.20㎡ : 1室 87.30㎡ : 1室	特になし。平成25年度中に心理学実習室の4室すべてについて設備等の整備が終了した。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

駒沢女子大学点検・評価・改善委員会が設置されている。

b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)

平成27年4月16日に開催され、全学11名の委員のうち11名が出席した。

平成27年5月21日に開催され、全学11名の委員のうち10名が出席した。

平成27年6月18日に開催され、全学11名の委員のうち11名が出席した。

平成27年11月19日に開催され、全学11名の委員のうち11名が出席した。

平成28年1月21日に開催され、全学11名の委員のうち10名が出席した。

c 委員会の審議事項等

平成27年4月16日： 平成27年度の活動計画の確認、新委員長の選出、部門と担当者の確認など

平成27年5月21日： 大学全体としての平成27年度前期公開授業・FD研修会の実施方法の検討など

平成27年6月18日： 大学全体としての平成27年度前期FD研修会実施方法の詳細に関する検討など

平成27年11月19日： 大学全体としての平成27年度後期公開授業・FD研修会の実施方法の検討など

平成28年1月21日： 平成27年度の総括および平成28年度変更点の検討など

② 実施状況

a 実施内容

(1) 学内公開授業 (前期および後期)

(2) 全学的FD研修会 (前期および後期)

b 実施方法

(1) 学内教員による授業の相互参観と意見交換

(2) 複数の教員による教育方法の工夫の発表と検討会

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- (1) 前期平成27年6月15日～7月2日までの3週間、大学全体として102科目（268コマ）を公開した。
参観者人数は大学全体で延べ81名。
後期平成27年11月23日～12月18日までの4週間、大学全体としては106科目（282コマ）を公開した。
参観者人数は大学全体で延べ61名。
- (2) 平成27年7月16日、専任教員61名が出席
平成28年2月18日、専任教員72名が出席

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

本年度前期・後期FD研修会は、「カリキュラムポリシーに基づく学科単位でのFD活動への取り組み」をテーマとし、具体的には「欠席学生への授業対応」について、各学科1名の教員が各科の現状と問題点の報告、および解決策の提案を行い、出席教員による質疑応答が行われた。前期FD研修会では、国際文化学科・人間関係学科・メディア表現学科が発表を行い、学生支援課から現状報告が行われた。後期FD研修会では日本文化学科・心理学科・住空間デザイン学科・健康栄養学科が発表を行った。これらのFD活動を踏まえ、参加教員が各自の授業の性質に応じて適宜活用すべきところを取り入れていくことが期待される。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

全学的に実施している。前期は7月13日～7月18日、後期は1月12日～1月18日の授業時間内で、専任教員が担当する一科目以上を対象に実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

専任教員が担当する一科目以上の授業について、アンケート結果ならびに科目担当教員による自己評価報告書を図書館で公開している。公開対象はすべての教職員および学生であり、図書館での閲覧が可能である。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1. 本学科は、臨床心理学の分野のみならず、現代社会が抱える諸問題に取り組むことのできる問題解決力や、人間関係を円滑に保ち他者とつながる力を有する人材を育成する必要性から、人間関係学科の中にあつた「心理と臨床コース」を分離独立させて新たに「心理学科」として開設し、本年度は4年目となる。

2. 入学した1年生に対しては、オリエンテーション及び“初年度教育”として位置づけた「基礎ゼミⅠ、Ⅱ」の充実化を図っている。具体的には、文献検索やレポート作成を中心として各担当教員が個別・具体的に指導してきた。また、「心理学の基礎Ⅰ、Ⅱ」では、心理学の基礎的知識を付与するとともに、心理学が社会の様々な問題にどのように貢献しているのか、学生が具体的にイメージできるよう視覚教材や事例を用いるなどの工夫をしている。これら取り組みを基盤として、心理学の基礎的・応用的な専門性を深め、現代社会が抱える諸問題に取り組むことのできる問題解決力や人間関係を円滑に保ち他者とつながる力を有する人材の育成に努めている。さらには、担任教員が適宜ポートフォリオ面談を行い、学生一人ひとりの目標を明確化して、モチベーションを高めるための働きかけを行うなどきめ細かい指導を行ってきた。

2年生に対しては、専門教育科目が本格的に始まることや3年次からの専門ゼミ選択という課題もあることに鑑みて、基礎ゼミⅢの中でより高度な専門教育への準備や各専門ゼミの紹介などを行った。具体的な素材に基づく討議やレポートの作成など、実践的な内容とし、同時に、学生同士で協働していく力も身につけさせるようにした。

さらには、将来の大学院進学及び就職活動に鑑みて、27年度から基礎ゼミⅡ及びⅢにTOEIC試験を導入したが、学びの意欲を喚起する上でよい刺激となっている。

3. 本学は、道元禅師の「正念」と「行学一如」の教えを建学の精神としている。本学科が標榜する「社会に役立つ心理学」は、まさにその精神に基づいた行動と知識の一体性、実践と理論の相即性の確立を目標としている。仏教学の講義や毎週月曜日昼休みに実施している「学燈会」によって、禅の精神を理解させるとともに、心理学の学びとどのように結びつくのかを意識させざる取組みをしてきた。この点は、学生を指導する個々の教員の意識や姿勢にもかかわるため、学科会などの機会を利用し、教育方針の共有化を図るようにしている。また、「学燈会」では本学科の教員の講演も行われた。

4. 本学科に入学した学生は、心理学の学びという明確な目標を持っているが、学習に取り組む姿勢や学力面での個人差は比較的大きいので、この点には留意しておく必要がある。そのために、1～2年生では基礎ゼミⅠ～Ⅲの担当教員が、3～4年生では専門ゼミの教員がそれぞれ担任として学生生活全般の支援を行い、必要に応じて学生支援課等の関連部署との連携も密に行ってきた。これらの体制によって、本学の特色のひとつ「面倒見のよい教育」の実践を図っている。

その他、心理学検定の受検や将来大学院進学を目指すなど意欲の高い学生向けに、大学院生を講師とした心理学の勉強会もカリキュラム外として実施している。

5. 本学科を志望する学生の中には、精神的な課題を抱えている者も少なからずおり、このために対人関係、学習意欲などの理由から退学に至ったケースもある。学生の動向に注視し、早期の介入ができるよう学科会その他での情報交換、学生相談室との連携など必要な措置を講じている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

認証評価機関による直近の自己点検・評価報告書は平成25年5月16日大学ホームページ上で公表した。またこれに伴う中間報告書を平成28年7月以降に公表予定であるが、対象学科（心理学科）に関する内容を含んだ認証評価機関への報告書については平成32年5月末を予定している。

b 公表方法

大学ホームページ上で公開中

③ 認証評価を受ける計画

平成24年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受けており、次回は平成31年度に受ける予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (28年 8月 31日)